

29 城中緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 城中八幡神社周辺一帯（伊奈町）
- (2) 指 定 昭和59年3月31日（茨城県告示第477号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、スタジイの群落を主にスギ、ヒノキの混生する明るい森林である。

この暖帯性常緑樹林の下に南方系の大型蝶、アオスジアゲハ、関東地方以西に分布するチャバネセセリ、ウラギンシジミ、個体数の少ないウラナミアカシジミ等、希少性を有する種が生息するほか、ヒクイナ、バン、ムナグロといった水辺の野鳥が多く、昆虫類、鳥類が数多く見られ、集落内において、これらの良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スタジイを優占種とし、スギ、ヒノキの混生する常緑樹林である。

林内には、シラカシ、ヒサカキ、コナラ、エノキ、ムクノキ等が見られ、その下にテイカカズラ、ジャノヒゲ、イタビカズラ等が豊富に生育している。

このうちイタビカズラは、関東地方以西に分布するつる性の常緑樹である。

イ 野生動物

常緑樹林を好むアオスジアゲハ、ウラギンシジミのほか、周辺には、チャバネセセリ、イチモンジセセリ等のセセリチョウ類、クロアゲハ、カラスアゲハ、キアゲハ等のアゲハチョウ類、ベニシジミ、ゴイシジミ、ツバメシジミ等のシジミチョウ類、ジャノメチョウ、ヒメジャノメチョウ等のジャノメチョウ類が数多く生息している。

このうちアオスジアゲハは南方系の種で、ウラギンシジミは関東以西に分布するが、共に個体数が少ない。

また、オツネトンボ、ギンヤンマ、オオアオイトトンボ、コフキトンボ、ナツアカネ、アキアカネ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られる。

さらに、周囲が湿田のため、チュウサギ、コサギをはじめ、ヒクイナ、バン、ムナグロ、オオヨシキリ、セッカのほか、冬鳥のジョウビタキ、ツグミ、アオジ、シメ等も多数確認されている。

(3) 区 域

ア 区域の概要

本地域は、筑波稲敷台地の南縁部に位置する伊奈町城中集落地内の城中八幡神社を中心とするまとまった森林地域である。

イ 位置及び区域

筑波郡伊奈町大字城中字八幡山807番地外4筆
別図のとおり

ウ 面 積 1.07ヘクタール

エ 土地の所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	1.07	1.07

(面積は、台帳面積による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、城中八幡神社地内で、スダジイの群落を主に、スギ、ヒノキの混生する常緑樹林である。

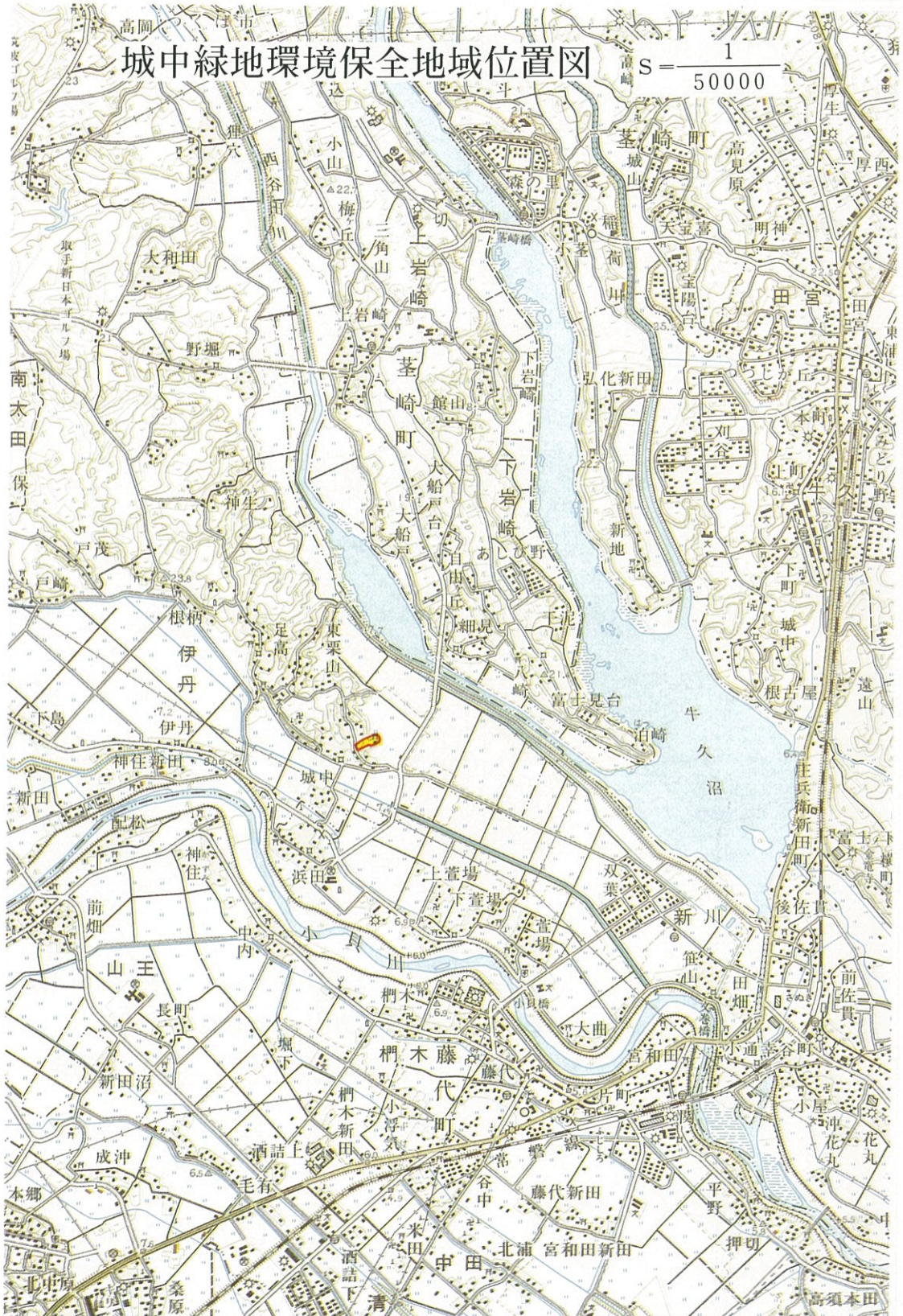
この暖帯性常緑樹林の下に、南方系のアオスジアゲハ、関東以西に分布するウラギンシジミ、チャバネセセリ等、希少性を有する蝶類が生息するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

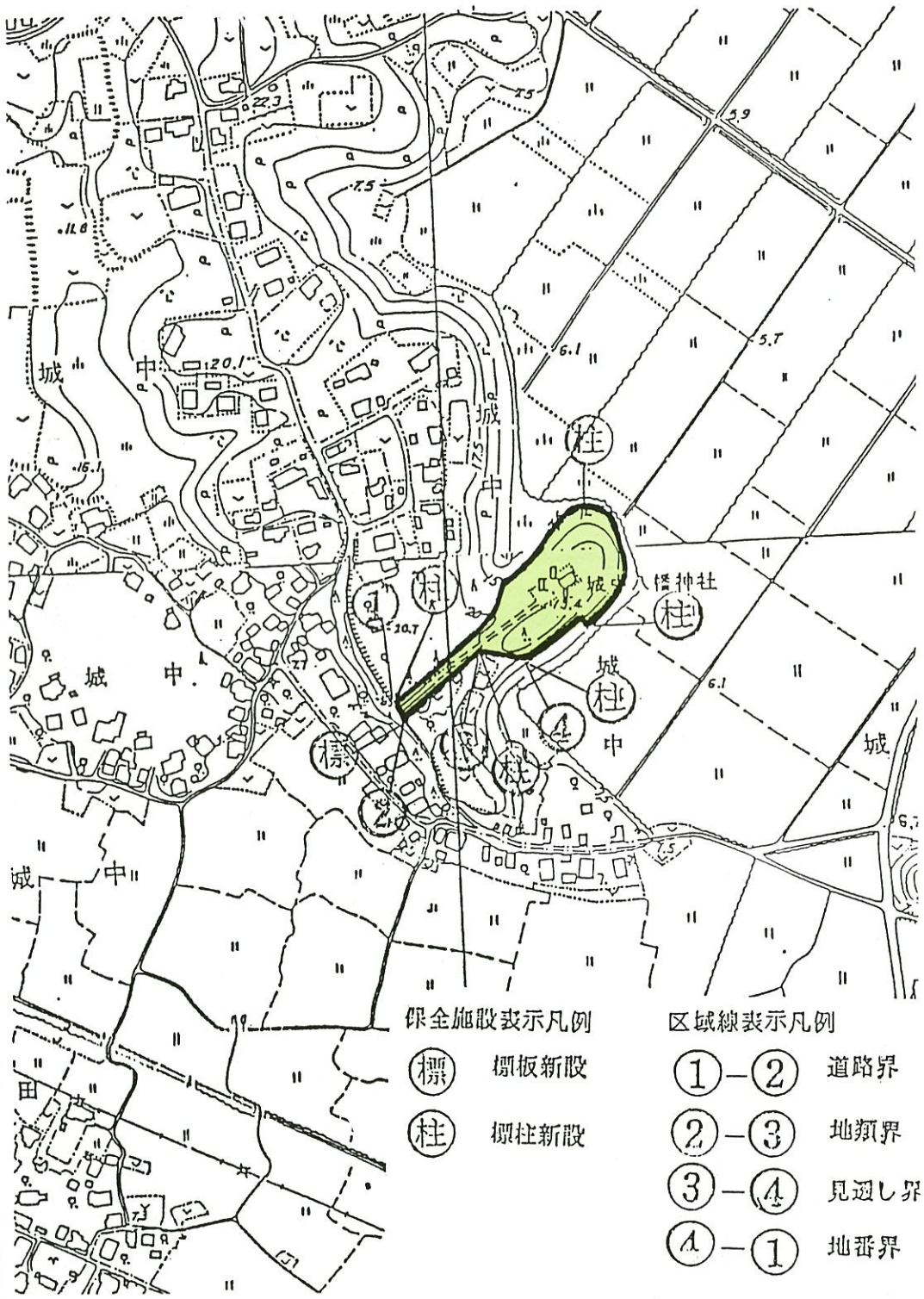
城中緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



城中緑地環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{50000}$$



保全施設表示凡例

- 標板新設
- 柱新設

区域線表示凡例

- ①-② 道路界
- ②-③ 地類界
- ③-④ 見返し界
- ④-① 地番界